

2024年5月、「山形大学人材育成プログラム「i-HOPE」2024
新事業創出イノベーションプログラム」が始まりました。
本記事では、2024年12月の講義の様子をご紹介します。



新事業創出イノベーションプログラム「i-HOPE」2024

- 新事業創出に必要な起業家精神と知識・スキルを学ぶプログラム
- 期間は2024年5月から12月の約8か月間
- 隔週土曜日開催で講義日は全17回

●失敗事例共有会～King Of Failure～（12/7）

山形大学 教授
アントレプレナーシップ教育研究センター センター長
講師：小野寺 忠司氏

「失敗は成功の母」といった言葉があるように、失敗はイノベーションを生み出す重要なきっかけとなることがあります。本講義では、参加者の失敗事例を共有し、新事業、起業を行う上でどのようにイノベーションと向き合うべきなのかを議論しました。



●Idea, Passion, Start with WHY（12/7）

山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター 招聘講師
(株)Just on time / (株)next is east 代表取締役社長
講師：マンジョット ベディ氏

人は「What」ではなく「Why」に動かされます。日本・アジア・アフリカまで様々なコミュニケーションを設計してきた講師の経験、実践的な知見を実例に、コミュニケーションに対して大切な5つのポイントを教えていただきました。



●グループワーク⑧～最終発表準備、ブラッシュアップ～（12/7）

山形大学客員教授
一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
講師：廣川 克也氏

最終発表に向けた、ビジネスプランのブラッシュアップを行いました。講師、コーディネーター等からの助言などを踏まえ、最終回までの実現を目指し、各チームによるプロトタイプを作成や実証実験について準備を進めました。



●最終発表会（12/21）

本プログラム全17回の総括として、チームで検討した地域課題を解決するビジネスプランの最終発表を行いました。地域課題のフィールドをご提供いただいた尾花沢市の関係企業・自治体職員の皆さま、受講生の企業の方や、Yamagata yori-i projectのコーディネーターにもご視聴いただきました。

発表時間は1チーム8分。限られた時間の中に込められた熱意とアイデアをもとに、各チームが堂々と発表を行いました。発表後には、審査員の方々から「世界観を感じる素晴らしいアイデア」「ぜひ実現してほしい」「もう少しターゲットを明確にするとさらに良くなる」など、多岐にわたるコメントをいただきました。最後には、尾花沢市の結城市長より全体を通した総評をいただき、盛況のうちに最終発表会を終えることができました。



会場の様子



発表の様子

審査員

- ・HIRO SOCIAL PRODUCE LABO 代表 渡辺広之氏
- ・株式会社Bees 代表取締役社長／SCSK株式会社 エバンジェリスト 古宮浩行氏
- ・山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター長 小野寺忠司氏
- ・山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター副センター長 菅生達仁氏



HIRO SOCIAL PRODUCE LABO
代表 渡辺広之氏（審査員）



尾花沢市 結城市長



小野寺塾長

TOPIC



ヤマガタリアルメタバース研究所

会員募集中

「ヤマガタリアルメタバース研究所」では、XR・VR技術に興味のある方を対象に会員を募集しています。セミナーやイベントを通じて、業界の最新トレンドを学びながらスキルアップを目指せます。参加料は無料です。詳しくは、公式HPをご覧ください。

※公式HP：<https://yamagata-realmetaverse.institute/>